

2003年11月12日

緊急世論調査 衆院選直後 報告書

(2003年11月11日～12日調査)

調査の設計	1
結果の概要	3
単純集計	6
調査票	11



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610
<http://www.nagano-yoron.or.jp>

調査の設計

調査の目的

政権選択を最大の争点にした第 43 回衆議院選挙（10 月 28 日公示・11 月 9 日投票）は、自民党、公明党などの連立与党が 275 議席の「絶対安定多数」を確保し、野党の民主党は 177 議席に躍進を遂げ、3 回目の「小選挙区・比例代表」選挙で、本格的な二大政党政治への流れを加速させた。

その一方で、公明党が議席を増やして与党内での影響力を増し、野党では共産党、社民党の護憲勢力の後退が際立った。

各党が選挙戦でマニフェスト（政権公約）に掲げた年金、雇用、民営化などの国政課題の実現性が問われるとともに、イラクへの自衛隊派遣、北朝鮮の拉致被害者家族の帰国など緊急の外交課題が目前に控え、新たな政治環境のもとで、緊迫した攻防が展開されそうだ。

県民は今回の選挙結果をどのように受けとめ、今後の政治にどのような期待を抱いているのか、選挙戦の熱気が冷めやらぬ中で世論動向を探る。

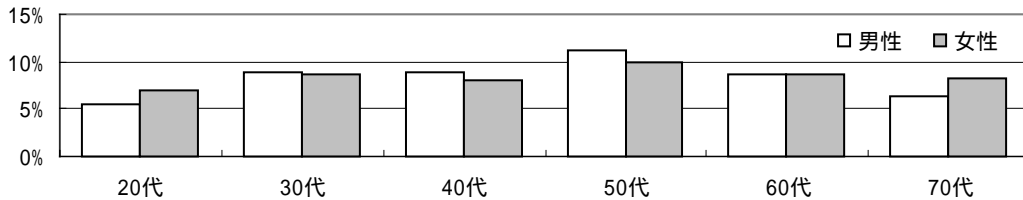
調査の設計

調査対象	長野県内に住む 20 歳以上の男女 800 人
抽出方法	県内を 5 つの小選挙区に分け、さらに 20～70 代の 6 つの年代層・性に分割し、有権者数による比例配分で、各市・各郡の対象者数を設定。 NTT の電話帳から一定のルールにより、無作為抽出した世帯から、設定した年代・性の人を 1 人選んだ。
調査地点	17 市 15 町 9 村
調査方法	電話
調査期間	2003 年 11 月 11 日～12 日
回答結果	800 人（目標数に達するまで抽出し回収率 100.0%）

回収サンプルの内訳

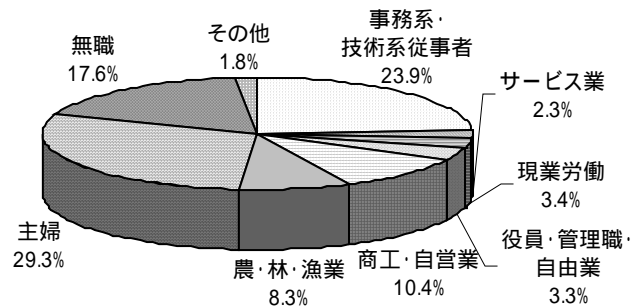
【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代
全体	800	100	141	136	168	138	117
	100.0%	12.5%	17.6%	17.0%	21.0%	17.3%	14.6%
男性	395	44	71	71	89	69	51
	49.4%	5.5%	8.9%	8.9%	11.1%	8.6%	6.4%
女性	405	56	70	65	79	69	66
	50.6%	7.0%	8.8%	8.1%	9.9%	8.6%	8.3%



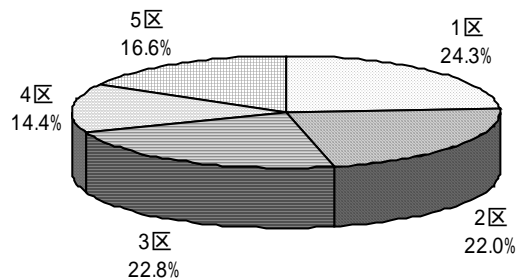
【職業】

事務系・技術系従事者	191	23.9%
サービス業	18	2.3%
現業労働	27	3.4%
役員・管理職・自由業	26	3.3%
商工・自営業	83	10.4%
農・林・漁業	66	8.3%
主婦	234	29.3%
無職	141	17.6%
その他	14	1.8%



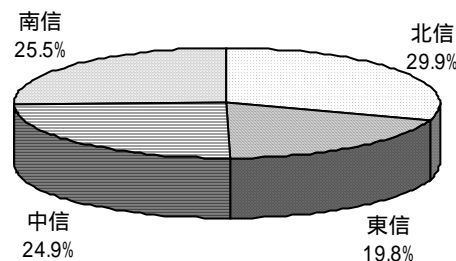
【選挙区】

1区	194	24.3%
2区	176	22.0%
3区	182	22.8%
4区	115	14.4%
5区	133	16.6%



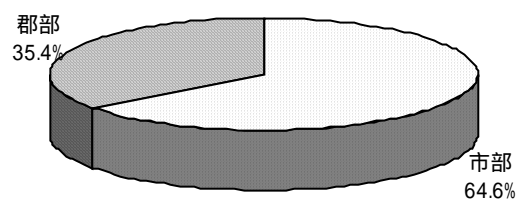
【地域】

北信	239	29.9%
東信	158	19.8%
中信	199	24.9%
南信	204	25.5%



【市郡】

市部	517	64.6%
郡部	283	35.4%



結果の概要

今回の選挙結果について

「好ましい」と歓迎するのが、全体として66%に達したが、その大半は「どちらかといえば」という消極的な受けとめ。「好ましくない」は28%。こちらも「どちらかといえば」という反応が大勢を占める。

年代層では、40代以上では「好ましい」が70%前後に上るが、20～30代の若い層では60%に届かない。

政党支持層では、自民党88% - 民主党62%の違いが際立つ。公明党は両党の間を行き、共産党では「好ましくない」が70%に達する。無党派層は「好ましい」が54%にとどまる。小泉内閣の支持層と不支持層では「好ましい」の受けとめで20ポイント以上の開きが見られる。

A 連立与党の「絶対安定多数」確保

「好ましい」が全体で辛うじて半数の51%。「好ましくない」は45%にのぼる。

女性は「歓迎」が57%と平均値を上回るが、男性では「好ましくない」が半数を超す。60代以上の年代層で「好ましい」が高めになっている一方で、50代以下ではあまり振るわない。とくに、40代では拒否的な反応が57%をしめす。

政党支持層では、自民党で87%が「満足感」を示し、連立の公明党もそれに次ぐ。「政権選択」を挑んだ民主党では30%を割る。無党派層は「好ましい」41% - 「好ましくない」53%と、冷やかなスタンスがみてとれる。

B 民主党躍進で「二大政党政治」本格化

「大変好ましい」が35%にのぼり、全体としては80%に迫る。「小選挙区・比例代表」で期待された大きな流れを強く歓迎する結果がしめされた。

好意的な反応は、男性で82%にのぼり、女性に比べて高い。職業層では、サービス業で「好ましい」が94%の高率。商工自営でも80%を超す。しかし「好ましくない」では管理職層や現業労働で高めになっている。

政党支持層では、攻める側だった民主党で90%を突破。対する自民党では77%。埋没する結果に追い込まれた共産党では、反応が相半ばする。無党派層では「好ましい」が75%と平均値を下回る。

C “第三勢力” 共産党、社民党などの衰退

全体として「好ましくない」が48%で、わずかながら「好ましい」(43%)を上回り、少数政党の衰退に危機感が押し出された。

男性の「好ましくない」が半数を超し、女性ではほぼ同数に分かれる。職業層で「懸念」をもっとも強く示すかたちになったのは管理職層で58%。事務・技術職、農林業、商工自営も半数を超えた。

政党支持層では自民党、民主党で「好ましい」全体で50%前後にのぼる半面で「当事者」の側の共産党で95%、社民党で83%もが反発的な反応。無党派層は「好ましい」30% - 「好ましくない」55%。

小泉内閣の支持率

支持が全体で 58.1%、不支持は 39.6%。歴代内閣の国政選挙前後の支持率としては、比較的高い水準をキープしている。

女性の支持が全体で 63%にのぼったのに対して、男性では 53%と 10ポイント以上も低くなる。

職業層でみると、支持で管理職層の 65%をトップに、無職層や主婦層で高い。その半面、商工自営では 50%に届かず、事務・技術職やサービス業でも振るわない。

政党支持層

民主党が 29.9%、自民党は 28.2%。僅差ながら民主党が今回衆院選での躍進をそのまま追い風にしてトップに躍り出た。3位からは公明党（3.9%）、共産党、社民党がだんご状態で続く。支持政党なしは 30.9%。

自民党支持で男性 25% - 女性 31%と、従来の男女差が逆転した。民主党支持では男性 35%に対して、女性では 25%にとどまる“不人気ぶり”は変わらない。民主党は 40代以上では 30%台の支持率を確保して、今回選挙での強さを裏付けるが、自民党は 30代の 14%を最低に、年代層のバラツキが目につく。

田中知事の支持状況に照らすと、積極的な支持層で自民党 23% - 民主党 43%、強い不支持層で自民党 42% - 民主党 22%と、対立的な構図が露わになっている。

「小選挙区・比例代表」制度の継続

「好ましくない」が総体で半数を超え、選挙結果に対する好意的な反応と打って変わって、拒否的な反応が前面に。中選挙区制から切り替えて 3 回目の選挙ながら、本格的な定着には、まだ曲折を抱えている格好だ。

優先してほしいマニフェスト（政権公約）

「年金手直し」が飛びぬけてトップに挙げられ、二番手は「景気・雇用の拡大」。選挙中の舌戦の中心テーマがそのまま、今後の公約実現への期待感として示された。3位は「北朝鮮の拉致問題」が入り「道路公団の民営化」と「消費税の年金財源化」が上位に並ぶ。「地方への財源委譲」や「憲法改正」はごく少ない。

「雇用・景気」では男女が足並みをそろえているが「道路公団」では男性が高め。女性は「年金」をはじめとして「拉致問題」や「消費税」。年代層でみると「年金」で 60代が突出。「景気・雇用」には 40代以下の期待の切実さが鮮明だ。

田中知事の選挙応援

「特別職として当然の政治活動」と是認する考え方には「そう思う」が 24%、「そうは思わない」が 71%。

理解の反応は 20代の 36%を軸に、比較的若い層で高め。その半面、60~70代では厳しい。田中知事の積極支持層は、是非の反応が真っ二つ。しかし、不支持層では批判的な見方が 90%を突破する。

「県民の代表として、政党・候補には等距離で」と批判的な考え方には「そう思う」が64%、「そうは思わない」は31%。

男女、年代層にはめだつた違いはないが、職業層では「そう思う」が現業労働で85%、「そうは思わない」ではサービス業の44%が筆頭。田中知事の積極的支持層でも半数を超えて「等距離」を望む。

「支持の表明は良いが、実際の活動は控えるべきだ」という中間的な考え方には「そう思う」が73%、「そうは思わない」は23%。

女性は「そう思う」がやや高め、現業労働や管理職層では80%台。一方「そうは思わない」では男性で平均値を上回る。20～30代や商工自営でも30%前後が否定的だ。

田中知事の“閣僚兼務”

「国政に地方の声を反映させる役割」と肯定的な考え方に「そう思う」が47%、「そうは思わない」は46%と賛否が伯仲。

「そう思う」では、男女差はあまりないが「そうは思わない」では男性が高め。20代では肯定的な受けとめが64%を示す。その半面、50代や70代で否定的な感度が強い。

田中知事の支持層は半数以上が肯定的だが、不支持層ではその半分にも届かない。

「知事と大臣ともに職務を果たせない」と危惧する考え方に「そう思う」が66%、「そうは思わない」は28%。

両立はムリとみる点では、男女の足並みがそろろうが「そうは思わない」では、男性が高め。年代層では、50代で7割が兼務に厳しい見方をする。逆に、30～40代では「そうは思わない」が3割を超す。

政党支持層では、「そう思う」が自民党、共産党、社民党で平均値をかなり上回る。民主党と無党派層では「そうは思わない」が30%を超す。田中知事の支持層全体では「そう思う」が61%を占める。

「県政に専念すべきで、急ぐことではない」には、78%が「そう思う」。 「そうは思わない」は18%。県政専念の要望は男女ともに変わらない。年代層が高まるほどに、そうした度合いが高まる。職業層では管理職層や主婦層、無党派層で8割を超える。

政党支持層や田中知事の支持状況では、ほかの回答と同様、賛否が分かれる。

田中知事支持率

支持は総体で69.3%、不支持は27.3%。ほぼ1カ月前の「田中県政3周年」調査よりも、支持率が5ポイント上昇し、積極的支持の度合いも増えた。

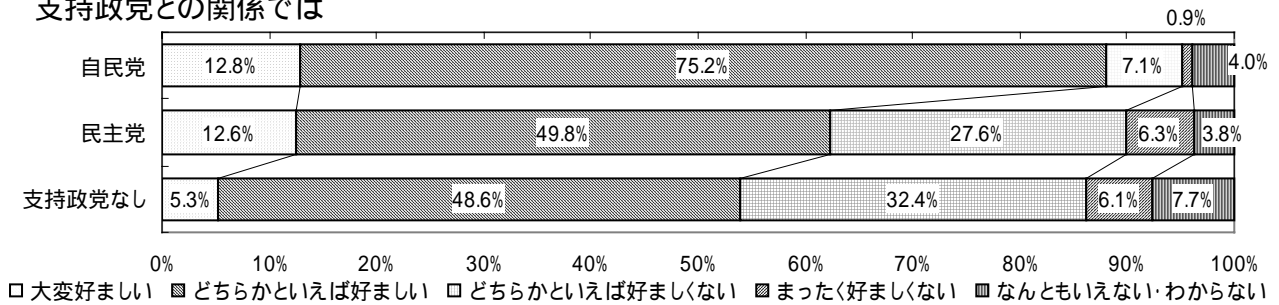
「支持する」では男性65% - 女性74%とかなりの差が生じ、わずか男性が上回った選挙前の「田中県政3周年」調査から、支持状況が様変わりした。年代層では、50代で積極支持が41%と群を抜く。政党支持層では、平均値をはさんで民主党で79%と高く、自民党では63%と低い傾向は、これまでと変わらない。無党派層では支持66% - 30%と、平均値よりもその差は縮まる。

単純集計

選挙の結果「好ましい」総体で66%

問1 今回の衆議院選挙の結果について、どのように受けとめていますか		
大変好ましい	79	9.9%
どちらかといえば好ましい	452	56.5%
どちらかといえば好ましくない	183	22.9%
まったく好ましくない	42	5.3%
なんともいえない・わからない	44	5.5%

支持政党との関係では

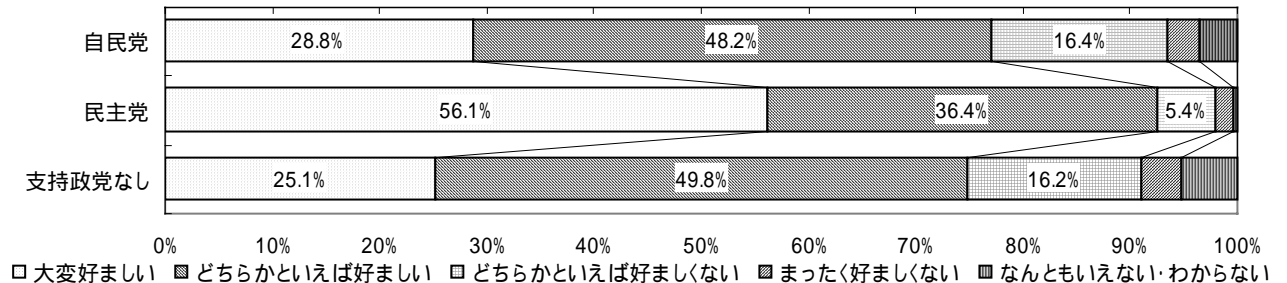


二大政党政治の流れ「好ましい」79%

問2 今回の選挙結果の具体的な内容については、どのように受けとめていますか		
A 自民党、公明党、保守新党の3党が「絶対安定多数」を確保したこと		
大変好ましい	74	9.3%
どちらかといえば好ましい	334	41.8%
どちらかといえば好ましくない	277	34.6%
まったく好ましくない	85	10.6%
なんともいえない・わからない	30	3.8%

B 民主党が増えて「二大政党政治」に近づいたこと		
大変好ましい	280	35.0%
どちらかといえば好ましい	352	44.0%
どちらかといえば好ましくない	109	13.6%
まったく好ましくない	29	3.6%
なんともいえない・わからない	30	3.8%

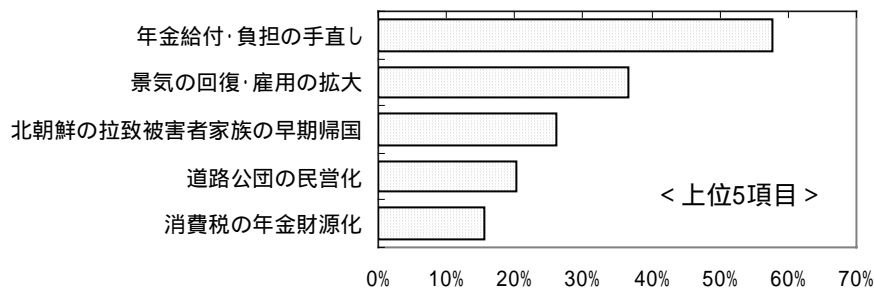
支持政党との関係では



C 「第三勢力」の共産党、社民党、保守新党が減少したこと		
大変好ましい	109	13.6%
どちらかといえば好ましい	235	29.4%
どちらかといえば好ましくない	296	37.0%
まったく好ましくない	84	10.5%
なんともいえない・わからない	76	9.5%

マニフェスト実行の期待「年金」突出 「雇用」「拉致」続く

問3 各党がマニフェストで掲げた政策や争点について、今後重点的に取り組んでほしいのは何ですか(2つ以内)		
年金給付・負担の手直し	462	57.8%
景気の回復・雇用の拡大	292	36.5%
北朝鮮の拉致被害者家族の早期帰国	208	26.0%
道路公団の民営化	162	20.3%
消費税の年金財源化	123	15.4%
イラクへの自衛隊派遣	79	9.9%
郵政事業の民営化	46	5.8%
公共事業の削減	44	5.5%
地方への財源委譲・補助金縮小	34	4.3%
憲法改定の準備作業	30	3.8%
その他	16	2.0%
特にない・わからない	20	2.5%

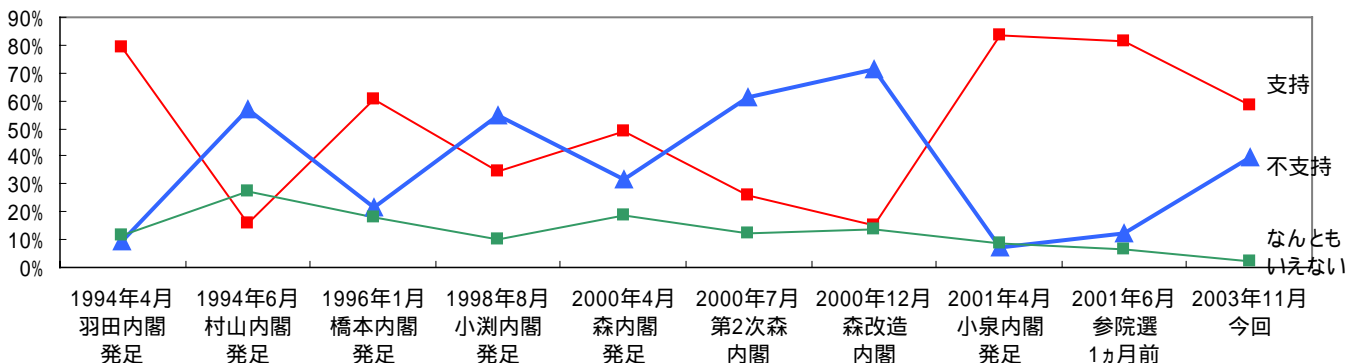


小選挙区・比例代表の継続 “否定的” 52% “肯定的” 41%

問4 現在の「小選挙区・比例代表」の選挙方法をこれからも続けることについてどのように考えますか		
大変好ましい	86	10.8%
どちらかといえば好ましい	241	30.1%
どちらかといえば好ましくない	296	37.0%
まったく好ましくない	123	15.4%
なんともいえない・わからない	54	6.8%

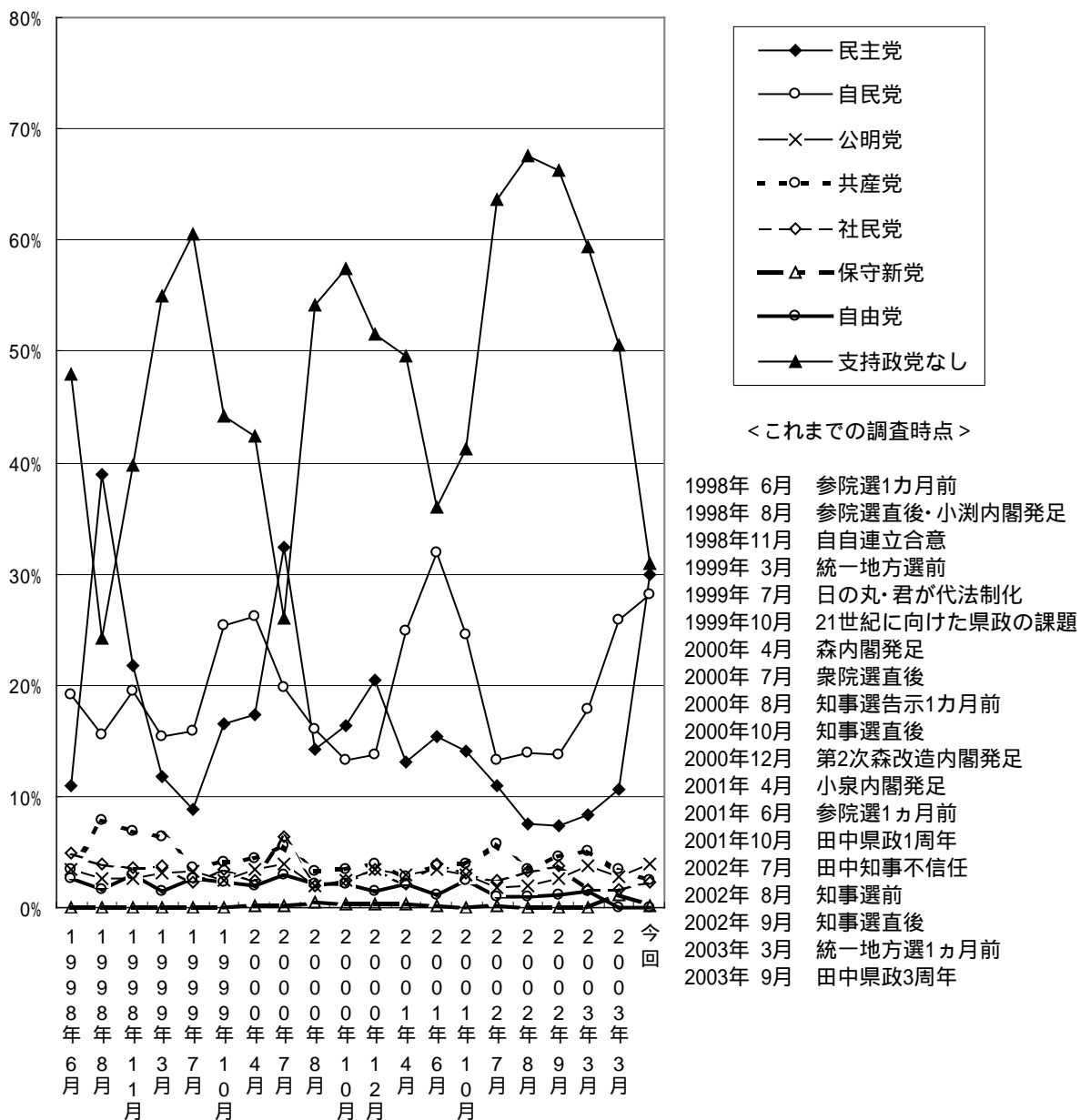
小泉内閣「支持する」58.1% 不支持39.6%

問5 小泉内閣を支持しますか		
支持する	141	17.6%
どちらかといえば支持する	324	40.5%
どちらかといえば支持しない	184	23.0%
支持しない	133	16.6%
なんともいえない・わからない	18	2.3%



政党支持「民主」トップ29.9% 僅差で自民党

問6 どの政党を支持しますか		
民主党	239	29.9%
自民党	226	28.2%
公明党	31	3.9%
共産党	20	2.5%
社民党	18	2.3%
保守新党	1	0.1%
その他の政党	5	0.6%
支持する政党はない	247	30.9%
なんともいえない・わからない・言いたくない	13	1.6%

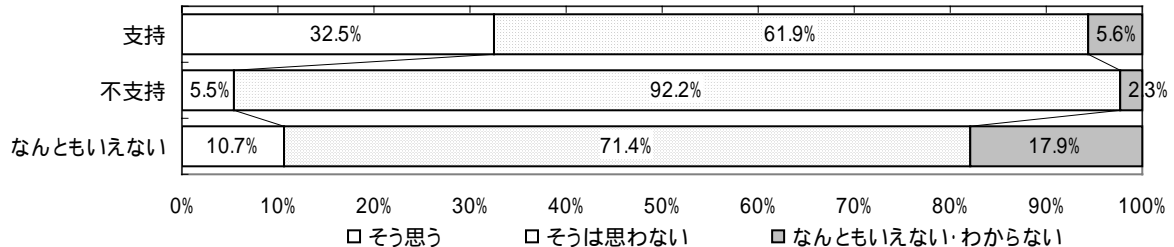


田中知事の選挙応援「当然」24% 「そうは思わない」71%

問7 田中知事が特定の党派や陣営のために、表立った応援活動をしたことに対する次のような考え方についてどう受けとめますか

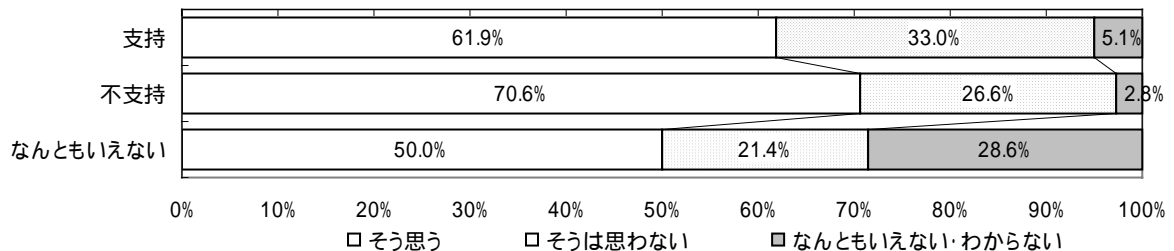
A 特別職の知事として、当然の政治活動だからかまわない		
そう思う	195	24.4%
そうは思わない	564	70.5%
なんともいえない・わからない	41	5.1%

田中県政支持との関係では



B 県民の代表である知事は、政党・候補に等距離であるべきだ		
そう思う	511	63.9%
そうは思わない	247	30.9%
なんともいえない・わからない	42	5.3%

田中県政支持との関係では



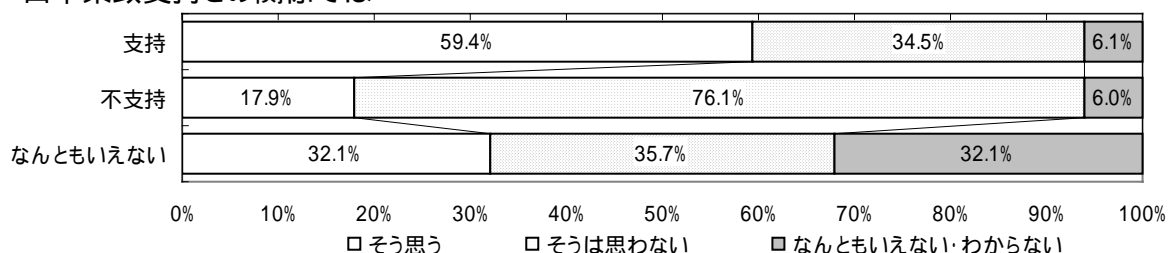
C 支持を表明するのはよいが、実際の活動は控えるべきだ		
そう思う	585	73.1%
そうは思わない	181	22.6%
なんともいえない・わからない	34	4.3%

田中知事の大臣兼務「地方の声を反映の役割」賛否半ば

問8 民主党政権になったときに田中知事が「地方分権担当大臣」を兼務することに対する次のような考え方についてどう受けとめますか

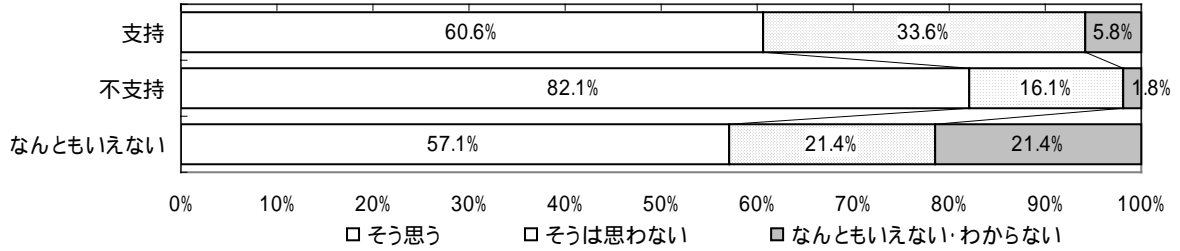
A 国政に地方の声を反映させる役割としては望ましい		
そう思う	377	47.1%
そうは思わない	367	45.9%
なんともいえない・わからない	56	7.0%

田中県政支持との関係では



B 兼務では知事と大臣ともに職務をきちんと果たせない		
そう思う	531	66.4%
そうは思わない	227	28.4%
なんともいえない・わからない	42	5.3%

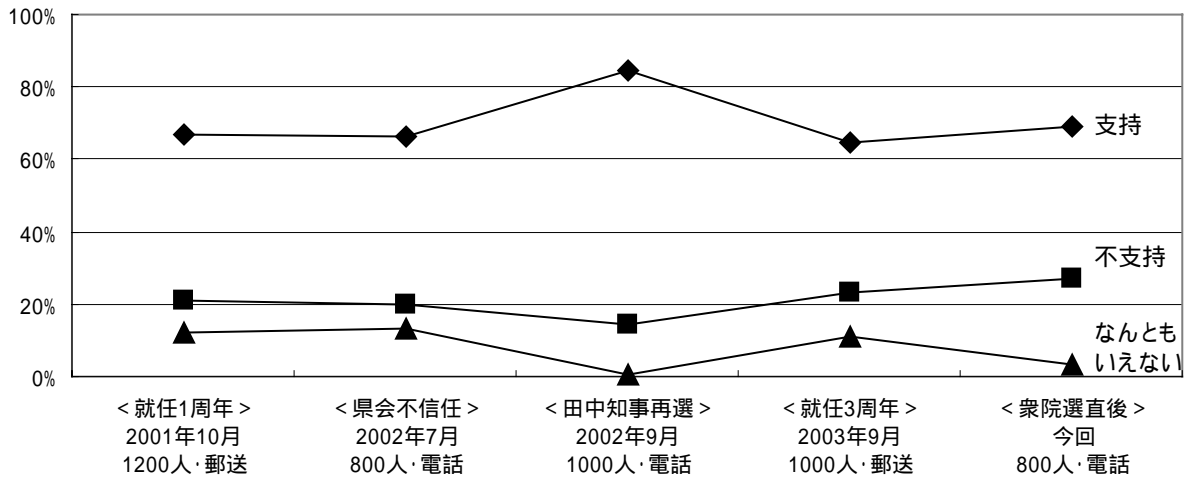
田中県政支持との関係では



C いまは県政に専念すべきで、急ぐべきことではない		
そう思う	623	77.9%
そうは思わない	141	17.6%
なんともいえない・わからない	36	4.5%

田中知事「支持する」総体で69.3% 不支持27.3%

問9 田中県政を支持しますか		
支持する	251	31.4%
どちらかといえば支持する	303	37.9%
どちらかといえば支持しない	130	16.3%
支持しない	88	11.0%
なんともいえない・わからない	28	3.5%



調査票

読み上げない

問1 あなたは、今回の衆議院選挙の結果について、どのように受けとめていますか。

大変好ましい	全く好ましくない
どちらかといえば好ましい	なんともいえない・わからない
どちらかといえば好ましくない	

問2 あなたは、今回の選挙結果の具体的な内容については、どのように受けとめていますか。

A 連立与党の自民党・公明党・保守新党3党が「絶対安定多数」を確保したこと

大変好ましい	全く好ましくない
どちらかといえば好ましい	なんともいえない・わからない
どちらかといえば好ましくない	

B 民主党が増えて、「二大政党政治」に近づいたこと

大変好ましい	全く好ましくない
どちらかといえば好ましい	なんともいえない・わからない
どちらかといえば好ましくない	

C 第三勢力の共産党・社民党・保守新党が減少したこと

大変好ましい	全く好ましくない
どちらかといえば好ましい	なんともいえない・わからない
どちらかといえば好ましくない	

問3 あなたは、今回の選挙で各党がマニフェスト（政権公約）で掲げた政策や争点について、今後重点的に取組んで欲しいのはなんですか。（2つ以内）

郵政事業の民営化	北朝鮮の拉致被害者家族の早期帰国
道路公団の民営化	雇用の拡大
年金給付・負担の手直し	憲法改定の準備作業
消費税の年金財源化	地方への財源委譲・補助金縮小
イラクへの自衛隊派遣	その他（)
公共事業の削減	特にない

問4 あなたは、現在の「小選挙区・比例代表」の選挙方法をこれからも続けることについて、どのように考えますか。

大変好ましい	全く好ましくない
どちらかといえば好ましい	なんともいえない・わからない
どちらかといえば好ましくない	

問5 あなたは、小泉内閣を支持しますか。

支持する	支持しない
どちらかといえば支持する	なんともいえない・わからない
どちらかといえば支持しない	

問6 あなたは、どの政党を支持していますか。(新しい衆議院勢力順)

自民党	共産党	その他の政党()
民主党	社民党	支持する政党はない
公明党	保守新党	なんともいえない・わからない
		言いたくない

< 今回の選挙での田中康夫知事の動きについて伺います。 >

問7 田中知事が特定の党派や陣営のために、表立った応援活動をしたことに対する賛否両方の反応があります。次のような考え方について、あなたは、どう受けとめますか。

- A 特別職の知事として、当然の政治活動だからかまわない
そう思う そうは思わない なんともいえない・わからない
- B 県民の代表である知事は、政党・候補には等距離であるべきだ
そう思う そうは思わない なんともいえない・わからない
- C 支持を表明するはよいが、実際の活動は控えるべきだ
そう思う そうは思わない なんともいえない・わからない

問8 民主党政権になったときに、田中知事が「地方分権担当大臣」を兼務することについても、賛否両方の反応があります。次のような考え方について、あなたは、どう受けとめますか。

- A 国政に地方の声を反映させる役割として望ましい
そう思う そうは思わない なんともいえない・わからない

